

平成22年度産業保健調査研究報告会

# 職場を撮影・編集したビデオを活用した 職場巡視トレーニングプログラムの開発

北野邦俊  
上田 厚  
小川道雄  
原田幸一  
皆本景子

熊本産業保健推進センター 所長  
熊本産業保健推進センター 相談員  
熊本労災病院 前院長  
熊本大学大学院生命科学研究部 教授  
熊本大学大学院生命科学研究部 助教

# はじめに

職場巡視研修は、産業保健スタッフの実地研修における必修科目である。しかしながら、研修担当機関(県医師会等)、研修受け入れ企業、実習参加者のそれぞれの様々な制約により、適切、十分な研修を実践することが困難である。

このような視点から、熊本産業保健推進センターは、今回の産業保健調査研究の一環として、**作業現場を撮影、編集したDVD**に取り入れた、産業保健管理担当者に効果的な**職場巡視の知識とスキル**を向上させることを目的としたトレーニングプログラムの開発を試みた。

# 方法

## 第1ステップ

本調査研究チームのグループワークにより、**労働安全衛生マネジメントシステム (ILO-OSH2001)** を取り入れた職場巡視のトレーニングプログラムの枠組みを設定する。

## 第2ステップ

職場巡視の教材として、**作業現場の作業と作業環境の様態をビデオで撮影、編集**する。

撮影にあたり、対象現場のスタッフと我々が、トレーニングの趣旨、撮影にあたっての注意事項(作業員や企業のプライバシー、職場の機密事項など)について十分に検討してから実施し、編集したビデオについても企業スタッフに十分に検討してもらい、教材とする。

## 第3ステップ

第1段階で設定したトレーニングプログラムの枠組みに従い、第2ステップで撮影・編集したDVDを組み入れた**トレーニングプログラムを決定**する。

## 第4ステップ

熊本県医師会が企画した産業医研修会(特定科目専門研修会)において、開発した研修プログラムを実施し、**その有用性を検証**する。

# 結果と考察

## 第1ステップ: トレーニングプログラムの枠組み

- ① 職場改善の概念と職場巡視の実践に関する基本的事項の学習
- ② 教材ビデオを見ながら、所定のチェックリストによる評価
- ③ グループワークにより、対象職場の評価と対策の検討

## 第2ステップ: 作業現場のビデオ撮影と編集

- ・対象: A新聞社 夕刊の編集と印刷
- ・教材名: ビデオを活用した職場巡視トレーニング  
ー労働の人間化と快適職場: 産業医活動の新しい視点ー
- ・内容: 「全行程」、「部署別」、「過程別」

## 第3ステップ: 職場巡視トレーニングプログラムの完成

## 第4ステップ: 有用性の検証

- ・熊本県医師会産業医研修会(特定科目専門研修会)で実施

表1 職場巡視トレーニングプログラム：産業医等研修会／職場安全衛生委員会

全体進行：研修会担当者／安全衛生委員長

## 1. イントロダクション：オリエンテーション

### 1) 基調講義：職場巡視の基本的事項

- ・産業保健の今日的課題と効果的な産業保健
- ・参加型・自主対応型産業保健活動と労働安全マネジメントシステム
- ・グループ討議のポイントと進め方
- ・改善指向型チェックリスト／職場マップの配布とそれを用いた職場の評価に関する実施／利用の方法の説明

### 2) ビデオを活用した職場巡視トレーニングプログラムの概要と趣旨の説明

(表1-2)

## 2. ビデオによる職場視察:事例検討

- 1) 対象職場の全行程のビデオ供覧と職場の規模、経営／安全衛生活動の概要説明
- 2) 部署別／過程別動画のビデオ供覧とそれぞれの評価のポイント説明
- 3) 各自、チェックリストに所見を記入

(表1-3)

### 3. グループ討議

#### 1) グループ内討議

- ・グループ討議の準備: 自己紹介／進行役・書記役・発表役の決定
- ・各自のチェックリストによる作業／作業環境の評価の発表と質疑
- ・職場マップの作成: 参考になる点、対策を必要とする点のリストアップ
- ・改善に向けての具体的提案

#### 2) 全体討議: グループ間討議

- ・グループ発表とグループ間討議
- ・まとめ: 対象職場の安全・衛生の評価と対策: 研修会担当者による総括

## 表2 職場の安全・衛生に関するチェックリストの概要と特徴

産業衛生学会産業疲労研究会作成

### 1) 概要

- ・チェックリストで点検することにより、改善を要する点に気付くとともに、改善のためのヒントを得ることが出来る。
- ・優先して改善できる点を明確にすることが出来る。
- ・作業条件点検の着目点や改善の考え方を理解することが出来る。

2) 問題点の点検や点数化による職場のランク付けが目的ではない。

3) 作業条件を網羅的に点検することが目的ではなく、重要ポイントを中心に点検し、改善の動機づけにすることが目的である。

付表 改善指向型チェックリスト（産業疲労研究会作成）

対象事業所 \_\_\_\_\_ 対象職場 \_\_\_\_\_  
 実施日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 点検者氏名 \_\_\_\_\_

職場を観察した後、以下の項目を点検して下さい。改善の必要性のみでなく、実施可能性も考慮して改善の優先度の高い項目にチェックをしてください。また、点検項目に関連した改善事例や良い工夫に注目し、良い事例についてのメモを残すとともに、改善の必要性がある場合で、他の場所での改善例が応用できると思ふ場合には、そのこともメモして下さい。

<物の保管と運搬>

チェック項目	不要	必要	優先度	自由記述・良い事例
1. 通路と作業場所をはっきり区分し、仕切りやマークですぐ分かるようにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
2. 材料・書類などの置き場に仕分けしやすい多段棚・スタンドをそなえ、必要に応じて小箱やパレット類を用いる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3. 作業に必要な道具類の安全な置き場を統一して、分かりやすいマークや標識をつける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4. 工具や材料、製品を運ぶために台車・車つきラックを使う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
5. 手扱いが必要な重量物・容器に持ちやすい取っ手をつける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<作業方法・内容>

チェック項目	不要	必要	優先度	自由記述・良い事例
6. 作業を行う手の高さがほぼ肘の高さになるよう作業面の高さを変えるか足台・スタンドを用いる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
7. 簡単に高さを調節でき、よい座面と腰を支えられる背もたれのある椅子を用いる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8. 座位・立位とも姿勢変換が自由にできるように脚回りのスペースを十分確保する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9. 材料・半製品などの保持を避けて治具や固定具、締め具、つり下げ装置を用いる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10. 単調で、繰返し手や指を使う作業の連続を避けるように作業を変えるか、他の作業と組み合わせる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
11. 作業しやすい工具、操作部、ソフトウェアを選び不必要な肉体・精神的負担を少なくする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<作業環境>

チェック項目	不要	必要	優先度	自由記述・良い事例
12. グレアのない採光方向にして、精密作業や中高年齢向けに局所照明具を用意する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
13. 作業中・移動中にふれるおそれのある動力伝達部や障害危険部を囲っておく	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

14. 騒音や振動の原因となる装置や道具の整備をしたり、騒音・振動源を他の部屋に隔離あるいは覆うなどして作業者への影響を低下させる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
15. 作業方法の変換や材料の変更により、使用する有害物を減少させる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
16. 換気扇や可動式局所換気ダクト、ダクトのフランジ、フード等を利用し有害物への暴露を少なくする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
17. 衝立などを利用して、有害光線や輻射熱を遮断する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<福利厚生条件>

チェック項目	不要	必要	優先度	自由記述・良い事例
18. 快適でゆっくりとくつろげるリフレッシュに適した休息場所をそなえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19. 作業場の近くに手を洗う場所、トイレ、飲水施設をそなえる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<作業組織・編成>

チェック項目	不要	必要	優先度	自由記述・良い事例
20. 追われ作業をさけて仕事の区切りが作業者ごとにつくよう出来上がり分の緩衝ストック場所をもうける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
21. 通常休憩以外に、作業中に小休止や自発休息がとれるゆとりをつくる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
22. 作業者が参加して計画した実際の教育訓練を利用しやすいかたちで実施する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

<追加項目>

全体のコメント

# まとめ

- ・産業保健管理スタッフの職場巡視／産業保健管理活動に対する知識とスキルを向上させるために、**作業現場を撮影・編集したビデオを取り入れたトレーニングプログラム**の開発を試みた。
- ・開発されたトレーニングプログラムは、**労働安全衛生マネジメントシステム**の理念を取り入れ、ビデオ供覧による職場の安全・衛生の評価ツールとして、日本産業衛生学会の開発した**「チェックリスト」**を用い、グループワークの形式で進める構成になっている。
- ・作成されたビデオは、**「全行程」、「部署別」、「過程別」**の3つのブロックで構成されている。
- ・本プログラムの受講者からは、本研修の有用性について一定の評価が得られた。
- ・本プログラムは、産業保健関係スタッフの研修や、産業医の現地研修に、活用、応用できる。

# 謝辞

諸般の事情を調整していただき、こころよくビデオ撮影、編集に応じていただきましたA新聞社に深くお礼申し上げます。

